

「さのブランド」キーホルダー



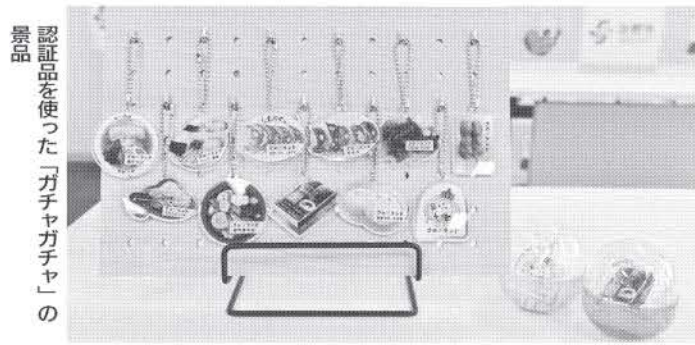
市オリジナルの亚克力キーホルダーを紹介する金子市長

【佐野】市は1日、「さのブランド」の認証品をデザインした11種類の亚克力キーホルダーを作製したと発表した。カプセル玩具自販機（ガチャガチャ）の景品として13、14の両日、市役所周辺で開かれる「第33回さの秀郷まつり」で限定販売する。金子裕市長は「景品はオリジナル。市内外を問わず、佐野市に興味を持ってもらえればうれしい」と期待した。（田中佑花）

「さのブランド」は、市の特産品を市内外の有識者などつくる委員会が3年ごとに認証する制度。地域資源の発信や、市のイメージアップなどを目的に2011年度から始まり、現在は89点が認証を受けている。

ブランド力の向上が期待される一方、認証を受けた事業者から「認知度が低い」との声が寄せられていたという。そこで市民向けにPRしようと、事業者と連携し初めて企画した。

認証品をPRへ



景品に使った「ガチャガチャ」の

ガチャガチャで

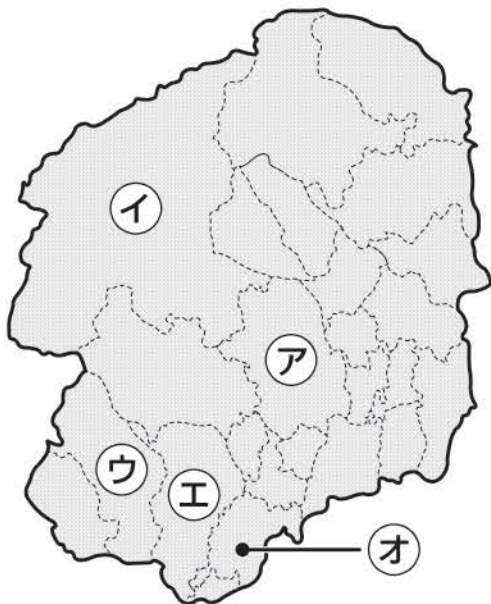
13、14日秀郷まつりで販売

小学校中・高学年向け
年組

設問

【1】「さのブランド」のキーホルダーは、何の景品として販売されましたか。

【2】佐野市の場所はどこでしょうか。地図の中の①～⑤から選びましょう。



【3】「さのブランド」は、どんな目的で始まりましたか。記事から二つ見つけてみましょう。

【4】あなたが住んでいるまちの特産品や

景品は「佐野らーめん」や「いもフライ」、「黒から揚げ」などの認証品10種が各95個、市ブランドキャラクター「さのまる」が描かれたロゴが50個で合わせて計千個。当たりが入っていた場合は、2

千～3千円相当の景品と交換できる。
ガチャガチャは1回300円。13日の午後3～9時と14日の正午～午後9時に販売する。なくなり次第終了。まつり会場内のグルメブース「市観光協会ブース」に2台を設置する。金子市長は「景品は数量限定。プレミアム感があるのでぜひ集めてほしい。多くの人の来場をお待ちしております」と呼びかけている。

有名な物を二つ選んで、キーホルダーにしてみましょう。
ヒント…インターネットで自分の市町の「ふるさと納税の返礼品」を調べてみるのもいいでしょう。

例

